

2019年 4月 19日

COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

みやぎ生活協同組合 理事長 宮本 弘 様
株式会社日専連ライフサービス 社長 羽生正弘 様

団体名	3. 1 1を語りつぐ会
団体所在地	〒982-0011 仙台市太白区長町3-7-1 (びすた〜り内) (団体電話) 022-352-7651 (団体FAX) 022-352-7652 (団体e-mail) (団体ホームページ) https://www.facebook.com/from20110311/
代表者名	(役職) 代表 渡辺祥子
連絡担当者名	(役職) 事務局 菊田俊彦
連絡担当者 住所・連絡先	

1. 助成事業報告

事業名	3.11 メモリアル企画 ①シンポジウム「子どもたちへ」 ②展示とメッセージコンサートで綴る＝つながる想い＝
目的	★東日本大震災が残した大切なメッセージ（困難の中、前を向き力強く生きる人々の姿や、地域～世界にいたるまでの支え合いがいかに人々に力を与えたかなど）を、シンポジウム・展示。メッセージコンサートと、様々なアプローチで伝える ★震災から8年が経った今だからこそ検証できること（防災、教育、ボランティアなど）にスポットをあて、今後の災害に備えると共に、日々の地域での支え合いにも役立つ情報を発信する。
実施内容	① シンポジウム「子どもたちへ」 2019年2月24日（土） ほっぷの森ホール（NPO 法人ほっぷの森内） 東日本大震災発生当時、被災地の公立学校の教諭を務めていたお二人を迎え、震災直後の実践や、当時から今に至るまでの取り組み、そしてこれからについて語ってもらう。更に、震災当時小学生だった現代学生も迎え、当時から今に至るまでの心の動きや今後について語ってもらう。最後は全員でのパネルトークも行った。

パネリスト

*制野俊弘さん（前東松島市立鳴瀬未来中学校教諭/和光大学准教授）

*徳水博志さん（元石巻市立雄勝小学校教諭/雄勝花物語共同代表/東北工業大学非常勤講師）

ゲスト：菊地里帆子（名取市立閑上小学校 5 年生時に被災。その後「東北六魂祭」や「東北絆祭り」で作文を朗読するなど、被災地からのメッセージを発信し続ける。現在、大学 1 年生）

コーディネーター：渡辺祥子（3.11 を語りつぐ会代表、アナウンサー・朗読家）

.....

② 3.11 メモリアル企画

展示とメッセージコンサートで綴る＝つながる想い＝

2019年3月8日（金）～11日（月）4日間 10:00～19:30

藤崎百貨店グリーンルーム：入場無料

<展示内容>

2019年3月8日（金）～11日（月）4日間

[※7日（木）搬入・設営、11日（月）搬出]

1. 忘れ得ぬ千年桜＝大沼英樹写真展＝（展示メイン）
2. 梅宮マルティナ 気仙沼 FS アトリエ活動紹介パネル&作品展示
3. 「風の電話」（ベルガーディア鯨山内）活動紹介パネル展示

<メッセージコンサート>

2019年3月9日（土）10日（日）：11時～、14時～（両日2回ずつ開催）

出演：3.11 を語りつぐ会代表 渡辺祥子（朗読・ナビゲート）佐藤正隆（ギター演奏）

＝トークゲスト＝

9日：梅宮マルティナ気仙沼 FS アトリエ代表
梅宮マルティナさん

10日：ベルガーディア鯨山主宰 佐々木格さん

※4日間通して行う展示に加え、週末には、展示でご紹介している活動の実践者を招き実際に話を聞くトークショーと共に、「生きる力」につながるメッセージを込めた朗読のコンサートも行い、総合的に訴求した。

<p>開始から終了までの流れ</p>	<p>2015年から毎年メモリアル企画を実施し、仙台市内での展示&メッセージコンサート開催と同時に沿岸被災地でも開催してきた2本立ての企画を、今年はシンポジウムと展示&メッセージコンサート（共に仙台市内）の企画に変更することを年度初めに決定。</p> <p>それは、震災発生から8年が経過し、客観的に当時の取り組みを振り返り、後世に伝える資料にもするべくじっくり話し合うシンポジウムの必要性を感じたため。</p> <p>シンポジストやトークゲスト、展示の選定などに時間がかかったが、当初の想定を大きく超えるほどの厚みのあるゲストを迎えることが出来、充実の内容となった。</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>2月のシンポジウム（来場者：123名）</p> <p>震災以降、子ども達の心の復興を目指したシンポジストの報告に対し、持論を展開する参加者もあり、有意義な時間となった</p> <p>震災時から子ども達と共に生き、様々な取り組みで子ども達の生きる力を引き出してきた話には、参加者も大いに心を惹かれるようで、真剣に聞いていただき、熱心な意見も飛び交った。</p> <p>3月のメモリアル企画（来場者 1,028名）</p> <p>連日多くの来場があり、最終的に1000名を超えるお客様に、展示やコンサートを鑑賞頂いた。</p> <p>この数字は、同じ企画を5年間続けた中での最高の記録であり、引き続き3.11が残した大切なメッセージを伝え続けていく必要性を実感した。</p> <p>※2月3月双方の企画とも、今回は「支援者」にスポットを当てた。これまでは懸命に生きる被災者の方にスポットを当ててきたが、双方の実践を伝える事の大切さも実感した。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>これまで、被災者の震災後のそれぞれの歩み、支える人々の様々な取り組み等を紹介し、被災地の人々と支援者の心をつなぐ活動をしてきた。</p> <p>その中で、今年は特に、「これまでは心の準備が整いませんでしたでしたが、ようやく来ることが出来ました」「これまで気づかなかったことに気づけました」などの声が寄せられ、まだまだ発信の必要があることを痛感。</p> <p>8年経ったから、10年経ったから終わりではなく、8年、10年経ったからこそ続けていく意味がある。しっかりと被災地の声を聞き、今必要とされることを届け続けていきたい。</p>

2. 助成金使途報告書

■ 収入の部（助成の対象となった事業の分のみ）

確保した資金内容	金額（円）	備考
みやぎスマイル基金助成金	300,000 円	
合計	300,000 円	

■ 支出の部（助成の対象となった事業の分のみ）

費目	内容	予算額（円）	実支出額	助成金からの支出額
賃借料	駐車場代	16,000	13,900	0
	会場費	60,000	0	0
	音響 照明	20,000	0	
消耗品	展示パネル等	85,000	51,371	20,000
	紙、がびょう等	20,000	13,222	0
出演料	シンポジウム講師・コンサートトークゲスト（5名）	70,000	130,000	130,000
	ギター演奏	40,000	50,000	50,000
宿泊・旅費交通費	東京⇄仙台 2名 ＜講師＞	0	40,000	40,000
	気仙沼⇄仙台 1名 （宿泊費込み）＜講師＞	0	20,000	20,000
	大槌町⇄仙台 1名 （宿泊費込み）＜講師＞	0	20,000	20,000
	大槌町⇄仙台 ＜スタッフ取材 （ガソリン代）＞	0	7,000	0
通信費	DM切手チラシ送付	0	22,045	0
制作費	印刷 デザイン	50,000	66,399	20,000
会議費	お茶 お弁当	14,000	29,235	0
雑費	出演者書籍	0	17,784	0

合計		375,000	480,956	300,000

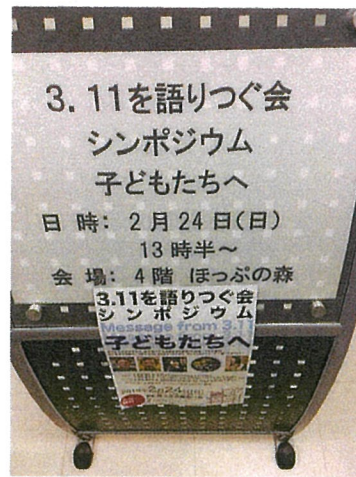
*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3. 送付必要書類

- (1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書
- (2) 領収書のコピー (助成金から支出した分のみ)
- (3) 成果物 (活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真など)

2019年3. 11を語りつぐ会シンポジウム「子どもたちへ」

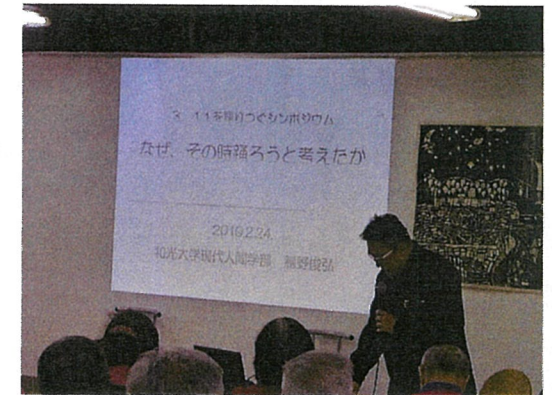
2019年2月24日 ほっぷの森ホール



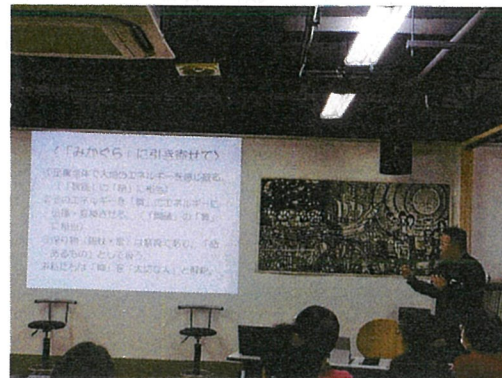
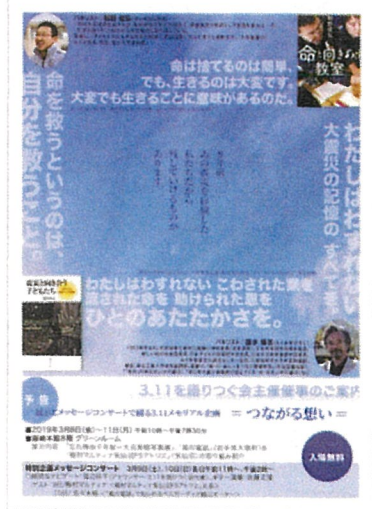
入り口案内板



コーディネーター 渡辺祥子



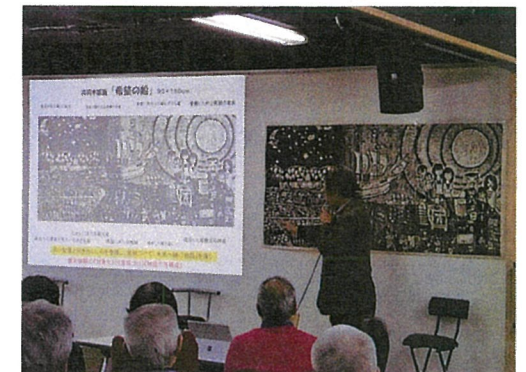
パネリスト 制野俊弘氏



制野俊弘氏からの報告



パネリスト 徳水博志氏



徳水博志氏からの報告



ゲスト 菊池里帆子氏



菊池里帆子氏とのトーク



4人によるトークセッション



皆さん熱心に聴いて下さいました



トークセッション



最後に記念撮影

2019 藤崎展「つながる想い」報告

2019年3月8日～11日 藤崎本館8階グリーンルーム



マールロード側大型広告にて掲示



8回エレベーター前の写真展示



グリーンルーム内写真展示



「風の電話」写真と活動紹介



気仙沼KFSアトリエ展示



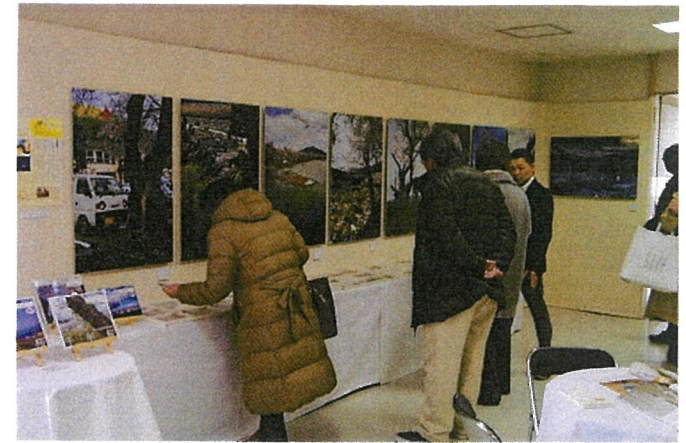
気仙沼KFSアトリエ活動紹介と展示



KHB東日本放送「ナマイキTV」にて紹介



「ナマイキTV」にて大沼英樹さんインタビュー



早速展示場へお客様来場



メッセージコンサートには立ち見のお客様が



9日トークゲストの梅村マルティナさんと



トーク後マルティナさんはお客様に囲まれました



気仙沼KFSアトリエコーナー



メッセージコンサート ギターの佐藤正隆さんと



10日トークゲストの佐々木格さんと



10日も沢山のお客様が来場しました

東日本大震災 8年

被災地の桜を撮った写真が並ぶ会場

くじけない強さ 桜咲く

東日本大震災の発生から8年を迎えるのに合わせてイベント「つながる想い 3・11」（3・11を語りつくす会主催）が、仙台市青葉区の藤崎本館8階で開催されている。11日まで。被災地で活動する人々に焦点を当て、展示と朗読、トークのメッセージコンサートで、写真家やドイツ人女性の手芸店主ら3人の活動を紹介する。2014年から毎年企画され、これまで「再生を自指す被災者を紹介してきた。」

「忘れえぬ千枝様」と題し、震災直後から仙台「つながる想い展」被災地の桜を撮り続けてきた写真家大沼英樹さん(49)＝青葉区＝の作品60点が並ぶ。がれきを背景に花を咲かせる桜は、くじけない強さや希望を感じさせる。

語りつくす会の代表を務めるフリーアナウンサーの渡辺祥子さん(53)は「この場所から新たな気持ちやつながりが生まれたらうれしい」と話す。

展示は午前10時～午後7時半。入場無料。メッセージコンサートは10日午前11時、午後2時にある。

河北新報3月10日の朝刊に記事が載りました